

パラコードアクセサリ

プログラムの概要・ねらい

元々は戦時中にパラシュートの吊り下げひもとして使われていた「パラコード」。編んでできたアクセサリはアウトドアにピッタリなファッションアイテムに。いざというときには、ほどけば丈夫なコードとして様々な場面で使えることからサバイバルツールとして注目されている。雨天、隙間時間プログラムとしてもおススメ。仲間で教えあいながら作りあげれば思い出の品となること間違いなし。

難易度：★★★★（高）

場所	団体：クラフト室、実習室等 家族：サービスセンター前		
時間	1時間程度		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	各部屋 席数 48
準備物	【利用者】活動に適した服装、救急用品 【自然の家】パラコードアクセサリ作りセット (パラコード1m×2、0リング) ハサミ、ライター、作り方シート		

①準備

団体：材料とクラフト室倉庫の鍵を、サービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
家族：材料をサービスセンター受付にて購入し、備品を借りる。新聞紙を机に敷く。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 説明
材料の配布
- 0:10 パラコードを編む
 - ・作り方シートを見ながらパラコードを編んでいく。
 - ※隙間をあげずに、一回一回しっかり引き締めていくとよい。
 - ※「作り方シート」は別紙
- 0:40 末端を処理する
 - ・余ったコードをハサミで切る。
 - ・コードの末端をライターであぶり、焼き止めを行う。
 - ※あぶった末端は冷めて固まるまで触らない。
 - ・全体を整え、完成
- 0:50 片付け
- 1:00 終了



キーホルダータイプ

③後片付け

団体：ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。(掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照)

※机と床の水拭きを必ず行う。

工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。

クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。

家族：机の上に敷いた新聞紙を木くずと一緒にゴミ箱へ捨て、机の上をきれいにする。

借りた備品をサービスセンター受付に返却する。